

CSZ (コミュニティ・スクールざっくばらん会)

8月28日(月)に文化会館3階会議室において、町内小中学校の学校運営協議会委員の皆さんとざっくばらんに話す会を開催しました。

推進員がつながっているように、学校運営協議会委員の皆さんもつながる機会をつくれたらと推進員が企画しました。

まず、河合統括推進員から「コミュニティ・スクール」について説明し、その後、推進員9名から各学校の取組み紹介をしました。

学校の思いと地域の思い
をつなぐ



コミュニティ・スクール:学校運営協議会を設置している学校

当事者意識

win-winの関係



学校運営協議会の協議→活動

生徒の意見を生かす



取組み紹介 愛川中学校
安全マップづくり



支援から協働へ



その後、「熟議の場をどうつくっていくか」をテーマにグループで熟議を行いました。熟議とは、多くの当事者による熟慮と討議を重ねながら取組みを形成していくことです。約束を確認し、自己紹介をして、付箋に自分の考えを書き、熟議が始まりました。



子どもたちと地域の安全について学校と地域で話し合いたい。



学校の本音も聞きたい。ちょっとしたきっかけでコミュニケーションを取っていいとよい。

それぞれの学校、地域に合った特色ある取組みをつくっていく。



コミュニティ・スクールを進める上で熟議がとても重要です。さまざまな場面で意見交換をすることで、思いを共有していきます。私たち推進員は、各学校での活動と合わせて、町全体での取組みの推進に向けて活動していきます。



タウンニュースで取り上げられました。